

# 新学術領域研究：三領域合同シンポジウム

分子アーキテククス：単一分子の組織化と新機能創成

高次複合光応答分子システムの開拓と学理の構築

高難度物質変換反応を指向した精密制御反応場の創出

日時：平成28年11月18日～11月19日

会場：大阪大学シグマホール（豊中キャンパス）

11月18日(金曜日)

13:00 多田博一（阪大院基礎工）趣旨説明と領域紹介

13:20 宮坂 博（阪大院基礎工）領域紹介と高次複合光応答について

14:00 真島和志（阪大院基礎工）領域紹介と多核金属錯体の特異な触媒機能

14:40 林 高史（阪大院工）光駆動触媒の構築を目指した人工光捕集系の構築

15:10 田中啓文（九工大院生命体工）SWNT/ポリ酸ランダムネットワークによる  
脳型パルス発生

15:40 休憩

16:00 河合 壯（奈良先端大）分子協調による高次複合光応答分子システムの構築

16:30 奥山 弘（京大院理）分子接合の可逆制御と分子伝導の精密計測

17:00 杉野目道紀（京大院工）キラリティ可換らせん高分子のキラリティ制御と分子機能

17:30 阿部二郎（青山学院大理工）段階的二光子吸収フォトクロミック分子系の創出

18:00 懇親会

11月19日(土曜日)

10:00 山口和也（東大院工）極微構造固体触媒による高効率酸化反応

10:30 家 裕隆（阪大産研）分子アーキテククスに向けた機能性ユニットの開発

11:00 休憩

11:30 松田建児（京大院工）2次元、3次元に集積化したフォトクロミック化合物の高次光応答

12:00 山田 亮（阪大院基礎工）単分子ダイオード：外部電界による分子軌道の変形を  
利用した整流特性の発現

12:30 総括

